

**令和 5 年度 第 2 回
富士見市障害者施策推進協議会議事録**

日 時	令和 5 年 1 1 月 1 7 日 (金)		開会	午後 2 時 3 0 分		
			閉会	午後 4 時 0 0 分		
場 所	市立南畑公民館ホール					
出 席 者	委 員	小菅委員	田嶋委員	朝倉委員	齊藤委員	小川委員
		○	○	○	欠	○
		木内委員	齊藤委員	国分委員	小寺委員	瀬尾委員
		欠	○	欠	○	○
		高橋委員	長澤委員	橋本委員	鶴澤委員	古川委員
		○	○	○	○	○
		細野委員	相澤委員			
	○	欠				
事 務 局	障がい福祉課 水口課長、谷合副課長、加治係長、三浦係長、					
公 開 ・ 非 公 開	公開 (傍聴者 0 名)					
議 題	1. 協議会開会 2. あいさつ 3. 議題 (1) 専門部会報告 ① 権利擁護・コミュニケーション部会 ② 相談支援部会 (2) 協議事項 第 6 期富士見市障がい者支援計画 (素案) について ① 富士見市障がい福祉についての実態調査報告書について ② 富士見市障がい福祉についてのヒアリング調査報告書について ③ 第 6 次富士見市障がい者計画の点検・評価について 4. その他 5. 閉会					

議事内容

事務局	<p>1. 協議会開会</p> <p>2. 会長挨拶</p>
会長	<p>計画の話し合いが主となるため、忌憚のない意見をいただきたく、よろしくお願ひしたい。</p>
部会長	<p>3. 議題</p> <p>(1) 専門部会報告</p>
部会長	<p>① 権利擁護・コミュニケーション部会</p> <p>次週11月22日に2回目の会議を開催し、計画の素案に対する意見をいただくことになっている。</p>
部会長	<p>② 相談支援部会</p> <p>8月29日に第一回目の部会実施。人材育成チームを発足し、事業所の若手職員を中心に、事業所紹介をテーマにして、今年度中に3か所の事業所を訪問することとした。障がい福祉課職員も同行する予定。7月5日、児童発達支援事業所・放課後等デイサービス連絡会実施。児童発達支援管理責任者の業務、アフターコロナの対応を協議した。地域生活支援拠点の報告について、令和4年度は、新規登録者が1名、緊急対応2名、相談1名、令和5年度は、令和3年度に対応した児童を緊急対応した。日中サービス型支援型グループホームの報告について、日中サービス支援型グループは、市内に3か所あり、施設の状況や課題を協議した。</p> <p>児童チームは、5月9日実施。市内の放課後等デイサービスや児童発達支援事業所職員が集まり、「連絡会」の今後の進め方、医療的ケア児の支援について等を協議した。</p> <p>精神チームは、10月13日実施。「精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム」の協議の場とし、地域の課題やニーズを協議した。主に訪問看護事業所を招き事例検討を行った。</p> <p>就労チームは、令和5年3月2日実施。「切れ目のない支援」の活動を協議した。今年度は各校の特別支援学級の生徒の卒業後の進路等について教育相談室の協力のもと、現状分析を行い今後の支援を検討する。</p> <p>10月18日に、第二回目の部会実施。「第6期富士見市</p>

	<p>障がい者支援計画」の策定における障がい者に関わるヒアリング会を行った。児童発達支援事業所・放課後等デイサービス連絡会は、10月23日実施。障がい者と同様に、「第6期富士見市障がい者支援計画」の策定における障がい児に関わるヒアリング会を行った。</p> <p>(2) 協議事項</p>
事務局	<p>◇第6期富士見市障がい者支援計画（素案）について資料にそって事務局が説明。</p>
委員	<p>計画策定の今後のスケジュールについて確認したい。</p>
事務局	<p>11月24日に市長など三役への中間報告、その後、12月18日に政策会議、年が明けて、2月に1か月間パブリックコメントを実施し、その結果を受けて、3月中旬から下旬に協議会を開催し、最終報告をする予定。</p>
委員	<p>案を公表するのはいつか。</p>
事務局	<p>パブリックコメントの公表時。</p>
委員	<p>10月の富士見ふるさと祭りの時に、聞こえに関する相談を個別に受けた。聞こえない本人と聞こえる両親とが、考え方に相違があるという内容。社会福祉協議会にこのような相談はあるか。</p>
委員	<p>今のような相談はないが、聞こえない方の相談は多い。ろう学校の先生と地域でどう支援できるか話しあったことがある。どこが受けても支援できればよいのではないか。</p>
会長	<p>就労相談に耳の不自由な方の相談はあった。</p>
会長	<p>相談は放置せずに、適切な支援につなげるようにしたい。</p>
委員	<p>今回の素案は、これまで議論してきたことを「施策の展開」において、細かく加えたことを評価したい。最終的にP41の今後の施策推進に向けた課題に加えており、施策に反映しているように見える。次回の権利擁護・コミュニケーション部会でも補足したい。また、インクルーシブ教育は障がい当事者だけでなく、障がいのない人と両面で施策を推進する必要がある。項目や内容の補強が必要ではないか。学校でも、当事者の声が活きる施策プロセスを考えてほしい。</p>
会長	<p>計画の期間が3年でよいか、もう少しゆとりのある期間でもよいかの検討が必要ではないか。また、3年に一度のアンケ</p>

	<p>ート調査なので、貴重な意見だと思う。意見には、難しいものもあるが、活かせるものもあると思うので、部会とも連携し行っていく。</p>
委員	<p>他市の協議会にも参加しており、人材育成の話が生じている。市のホームページ等の媒体で求人協力ができないかという提案があり、他市では検討することとなった。</p>
事務局	<p>委員の皆さんの意見をまとめ、整理していきたい。</p>
事務局	<p>4. その他</p> <p>事務局からの報告事項</p> <p>① 11月1日から「埼玉県思いやり駐車場制度」がスタートした。市内17施設が登録し、利用証の申請は11月16日現在31名に達した。</p> <p>② 12月9日の「あいサポートイベント」について、両眼と両手を失った元教師の方が講師として講演する。</p> <p>③ 令和6年1月27日、「聞こえとコミュニケーションに関する講演会」を開催する。</p> <p>5. 閉会</p>

